

公立刈田総合病院を 守り続けていくために

みやぎ県南中核病院との連携を推進し、公立刈田総合病院の規模や医療機能の適正化を図ります

本年1月、厚生労働省から、地域医療構想の実現に向けて、国の支援を受けながら地域の病院間の機能の分化・連携の推進を実施する「重点支援区域」に、仙南地域が選定されました。

このことを受け、本年5月、宮城県から令和3年度以降の公立刈田総合病院（以下刈田病院）とみやぎ県南中核病院（以下中核病院）の連携プランの概要が示されました。連携プランで示された今後の両病院の姿は、刈田病院と中核病院とで機能を分化し、少子高齢化や人口減少の時代に合わせ、病床数の削減や人員の適正化などを実施することにより、経営の改善を図っていくというものです。

刈田病院の診療体制は、現在の診療科目・部門をできる限り維持することを前提としています。しかし、専門的な

医療行為が必要とされる診療科目などは集約することも検討されています。

連携プランへの取り組みと令和2年度の厳しい経営状況

現在、刈田病院と中核病院では、この連携プランの具体化に向けた協議と取り組みが始まっています。

刈田病院では、近年、病床利用率が60%前後（平成30年の全国平均は約76%）で推移していることから、将来の人口減少なども見据えて、令和3年度当初までに病床数を199床とすることで医療従事者の適正化を図り、新たな診療体制でスタートする予定としています。

一方で、この連携プランが完全に実施されたとしても、刈田病院の収支がすべて改善するわけではありません。

連携プランを実施しない場合の令和2年度の収支予測では、約18億円の資金が不足することが見込まれています。病床数の削減による国・県からの補助金と、人員の適正化による経費の削減を考慮しても、なお12億円以上の資金不足が生じます。整形外科の入院患者の減少や新型コロナウイルスの影響などで、本年4月の病床利用率は約50%と落ち込んでおり、不足額が増えることも想定されます。

自立した病院経営を目指して

これまで、1市2町（白石市・蔵王町・七ヶ宿町）は、刈田病院の安定した経営のために多額の資金注入を行ってきました。また、刈田病院自身が金融機関からの借り入れも行っています。

しかし、1市2町には、これまでのように継続的に刈田病院の資金不足を補う財政的な余裕はありません。また、金融機関からの借り入れは、将来必ず返済が求められるも

のであり、多額になるほど将来の病院の経営を圧迫し、構成市町においても負担が増えることとなります。特に本市においては86.7%の負担割合があり、大きな財政負担が生じます。

今後、刈田病院の存続のためには、この1市2町からの資金注入や金融機関からの借り入れを中心とした病院経営を改め、持続可能な病院とするための方策を考えていく必要があります。

連携プランの推進は、今後の仙南の医療体制を維持していく上で間違いなく必要なものです。それと同時に、健全な病院経営を続けるための、刈田病院単体での抜本的な経営改革が求められます。

これらは、市民の命と健康を守る刈田病院を存続させていくために、確実に実行していく必要があります。引き続き関係機関との協議を進めていきますので、刈田病院の現状や今後について、市民の皆さまのご理解をいただきますよう、お願いします。

●連携プランによる病床機能の見直し

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般病棟	201床	155床	100床
地域包括ケア	48床	48床	48床
回復期リハビリ	51床	51床	51床
病床数合計	300床	254床	199床

●令和2年度収支予測（連携プランを実施しない場合）

A 当期収入	48.8億円
B 当期支出	59.3億円
C 当期収支 (A - B)	▲10.5億円
D 前期繰越	9億円
E 借入金返済	16.6億円
F 不足額 (D+C - E)	18.1億円

●構成市町の刈田病院への負担割合

	負担割合
白石市	86.7%
蔵王町	8.0%
七ヶ宿町	5.3%

仙南地域医療構想に関する住民説明会

～公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院との連携について～

市では、国・宮城県の医療政策担当者をお招きし、今回の「重点支援区域」選定に関する説明会を開催します。「重点支援区域の選定で何がかわるのか?」といった内容を正しく理解し、市民の皆さんとともに病院の機能分化の重要性を学び、これからの地域医療の在り方を考えるきっかけになればと思います。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

- 日時 7月12日(日) 10:00～12:00 (9:30開場)
- 場所 中央公民館 大ホール

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために以下の点をご了承ください。
- ・三つの密を避ける座席配置とするため、定員は先着順に200名までとさせていただきます。
 - ・マスクを着用しての来場、会場入口での検温・手指の消毒にご協力をお願いします。
 - ・体温が37.5℃以上の方の入場は制限させていただきます。
 - ・感染が確認された場合のために、参加者の名前・連絡先の記録を取らせていただきます。